

## 「共働」と「協働」に関する意見の概要と対応策（くらし・共働部会）

- ・「共働」という言葉を使っているのはなぜか。「協働」ではないのか。
- ・「協働」の方が馴染んでおり、しっくりくる。「コラボレーション」の意味を前面に出し方がよい。わかりやすい。
- ・目標に向かってみんなで努力するという意味では「共働」でもよいが、市民・企業・行政などの役割分担という点を意識すれば、「協働」が好ましい。
- ・21世紀を共に生きる、共に働く・共に汚す、全ての人が共に協力し合うとイメージできる「共働」がよいのでは。
- ・こだわるものではないが、あるべき社会の姿、共通の目標に向かって、共に取り組む、働くということ。共有、共生という概念を含むのであれば、「共働」であっても理解できる。
- ・通常「協働」とするところを、あえて「共働」とするのであれば、その理由を注釈などで明記すべき。
- ・注釈では不十分で、本文中に位置付けるべき。

### 「共働」を用い、本文中に「共働」の理念の説明を追加

一般には「協力して働く。コラボレーション」という意味で、「協働」を用いることが多い。

「共働」とは・「共に働く。コ・アクション」という意味で、広義の生物間の相互作用・相互関係を表す生物学的な用語でもある。

事務局としては、これまでの「協力して働く」という関係から、市民・NPO・ボランティア・企業・大学・行政などがお互いの役割と責任を認め合い、相互関係を深めながら「共に働く・行動する」、新しい関係を築いていくという意味をこめて、「共働」としている。